



岡本 裕美 *Hiromi Okamoto*

株式会社サタケ 営業統括本部 情報サポート課
(2004年3月 生物園科学研究科博士課程前期修了)

好きな何かを見つけて打ち込めば、
きっと“自分磨き”ができる。

入社理由と現在の仕事内容を教えてください!

就職活動中、何気なくサタケのホームページを見ていたときに、海外事業部の存在を知り、受けみようと思ったのがきっかけですね。中学生のころから英語が大好きで、自分で勉強を続けていたので、外国とつながりのある仕事を探していたんです。

入社後約2年は、希望通り海外事業部に配属され、海外のグループ会社の人とメールやファクスで連絡を取り合い、見積書の作成や発注作業などを担当しました。常に英語が飛び交っている職場を想像していましたが、実際はそうでもなかった(笑)。でも「英語が上手だね」って外国の方にほめられたときは、素直にうれしかったですね。

現在は、営業統括本部の情報サポート課で、主に和文

と英文の製品取扱説明書を作成しています。製品を開発する技術部から原稿をもらい、文章を校正したりイラストを作成したり。この仕事の担当になってから、他の取扱説明書の書き方を気にするようになりましたね。ルビの振り方や見出しの付け方など、テレビや新聞を参考に勉強しています。



社会人として仕事をする上でのポリシーを!

「自分に投資する時間を大切に」。社会人になると日々の仕事をこなすだけで大変なんです。だけど仕事だけで一日が終わってしまったら、自分自身が成長できない気がします。今も英語の勉強は毎日しているし、最近では中国語の勉強も始めました。中国は大きな市場なので、いつか仕事の役に立てばと思って。周囲の人には言っていないんですが、これは私の野望です(笑)。

海外事業部からの異動が決まった際、もう英語を学習しなくてもいいかなという気持ちになりましたが、今は、もっと頑張ろうって思いますね。実は、リフレッシュのためにヨガも習っています。結局、私は自分を磨くことが好きなんです。



サタケ歴史館

海外事業部のイメージは違っていました。入社して後悔はしていません。仕事と育児を見事に両立させていらっしゃる女性社員も多く、私たちにとって働きやすい職場だと感じています。

学生時代にやっておいて良かったと思うことは?

英語の勉強を続けたこと、留学したことですね。交換留学でポーランドに10カ月ほど行きました。現地では英語が全然通じなくてビックリしましたが、確実に視野が広がったし、「何でもやってみないと分からない。とりあえず挑戦してみよう」って思えるようになりました。その思いは、仕事をする上でも常に持ち続けています。

社会の第一線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。仕事のことから学生時代に身に付けておくべきこと、はたまたプライベートの話まで、私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。

羅針盤 O.B.&O.G 紹介



取材を終えて



「自分に投資する」という言葉が忘れられません。取材後、オフィスで外国の方と楽しそうに談笑している姿を見ると、今まで相当の努力があったんだろうなと感じました。会話の内容を聞き取ろうとして必死に耳を傾けましたが、ほとんど分かりませんでした(笑)。僕もいずれは先輩のように! まずは、挫折した英語のラジオ学習からやり直そうと思います。

取材・記事 / 教育学部1年 林 良輔



希望職種に近いこともあり、貴重な経験ができると期待をして挑んだ今回のインタビュー。「見ている方すべてがスポンサーです」という言葉が、NHKを一言で表現できるベストな言葉だと感じ、強く印象に残っています。取材中、逆にNHKに対するイメージなどを聞かれました。私たちの回答を熱心にメモされていた姿を見て、仕事にかける熱い思いが伝わってきました。

取材・記事 / 総合科学部3年 高浪 徹也

アナウンサーを目指したきっかけと今の仕事内容を!

今の職種を目指したのは、大学3年生のときです。サークルのフェニックス放送で活動していたし、受験生時代に聴いたラジオの深夜番組が面白かったという思い出もあって。NHKに決めたのは、率直に言えば受かったから。民放も受けましたよ。ただ、NHKのアナウンサーの方が言葉の乱れが少ないかなと思ったのも理由の一つですね。

基本的な仕事は、スタジオでニュースを読むことと事件現場からの中継です。リアルな情報をいち早く届ける。それこそがNHKの使命ですから。また現在は、自分が一番やりたいと思っていた音楽番組をレギュラーで担当しています。視聴者からのリクエストを基に、徳島の最新音楽情報を伝えるという内容。その他には、公開番組の企画を提案したり。アナウンサーって、自分から提案していかないと割り当てられた仕事をやるだけ。大きなことはできないんですよ。

仕事でやりがいを感じることや心掛けていることは?

視聴者から反応が返ってくる時が一番うれしいですね。いつも見た人がどういうふうにいるかなと考えながら番組を作っています。放送って人を傷つけてしまうこともあるし、影響を受ける人がたくさんいる。その責任の重みは常に感じています。視聴率は励みになるけれど、すべての指標じゃないですね。



後輩へメッセージをお願いします!

大学の4年間でできることは限られているから、浅く広くやるよりも、何か一つのことに打ち込んだほうがいいのかなんて思います。その情熱は、きっと自分の自信になります。僕の場合は、ずっとサークルを続けたことですね。途中で部員が自分1人になった時期もあったけれど、どうにか人を集めて立て直しました。

採用面接は運。慣れるためにたくさん受けることも大事ですね。「面接室の扉を開けて入ってきたときに決まる」ってよく言いますよね。オドオドしていたらダメ。「これをやってきた」とか「これができる」という確たる自信を持っておいの方がいいと思います。



畠山大志 *Daishi Hatakeyama*

NHK 徳島放送局アナウンサー
(2001年3月 理学部卒業)

きれいな日本語で物事を伝えたい。
NHKは自分に合っていると思う。